

えすえぬえす ひぼうちゆうしょう き SNSでの誹謗中傷に気をつけて!!

さいきん らいん ついっとー いんすたぐらむなどの、SNS上での誹謗中傷がきっかけとなり、自殺された方のニュースがありました。SNSはとても便利なツールですが、対人関係のトラブルにも発展することもあります。使い方には、気をつけましょう。

えすえぬえす どうこう SNSで投稿してはいけない5つのこと

1. 人やサービスの悪口
2. 個人情報、プライバシーの公開
3. 事実と異なる内容の公開
4. 誰かを傷つける行為
5. 他人の投稿批判



めーる らいん たつじん こころえ メールやラインの達人 心得

- ・相手が「自分の行動を監視されているのでは!？」と不安になるようなメッセージは送らない。
- ・相手が傷つくようなメッセージは送らない。
- ・何度も何度もメッセージを送らず、まずは、相手からの返事を待つ。



自分は、相手のことを思って送った一言でも、相手からすれば「傷つけられた」「怖い」などと感じることがあります。自分にとって、大切な人と、お互いにより関係を続けていくために、ルールを守ってSNSを利用しましょう。もし、トラブルに巻き込まれたら、相談できる人に相談しましょう。障害者支援センターも相談に乗りますよ。

❁第1回発達障害基礎講座開催のお知らせ(主催:発達支援専門家会議 in びほく)

新型コロナウイルスの感染拡大のため延期していましたが基礎講座をつぎのとおり開催します。

- ❁と き 9月27日(日)13:00~15:00
 - ❁ところ 十日市コミュニティセンター (三次市十日市南 1-2-18 三次駅の隣)
 - ❁内 容 発達障害児・者支援の中の医療の役割~医療とどうつながるか~
基調講演「発達障害とは何か」~相談診療を通じた経験から~
講師 杉山信作先生(元広島市療育センター長、2019年まで広島市中区で桜クリニックを開院)
 - ❁参加費 1000円(資料代含む)
- *事前申し込みが必要です。詳しくは障害者支援センターにお問い合わせください。

三次市 障害者支援センターだより

2020年 8月 No.62

〒728-0013
三次市十日市東三丁目14番1号
三次市福祉保健センター
TEL (0824)65-1131
FAX (0824)65-1132
E-mail support@p1.pionet.ne.jp
URL https://houkatsu-miyoshi.org



マヌケル君のアポなし訪問 ~かぜくさ編~

今回のマヌケルチャンネルは、福祉保健センターを飛び出し

地域活動支援センター「かぜくさ」へやって来ました。



マヌケル君とケイちゃんです

みなさんこんにちは。
今回のマヌケルチャンネルは、「地域活動支援センターかぜくさ」へ行って来ました。
取材に行った時は、利用者のみなさんが「紙太鼓」を作られていました。
この紙太鼓は、みなさんよくご存知の「どんちゃん」に使われる太鼓で、三次市にはなくてはならないものです。
カープ坊やデザインの太鼓もあります。

マツダスタジアムでの鳴り物を利用した応援は、カープ球団が認めたものしか利用できないため、残念ながらこの太鼓を使った応援はできないそうです。
応援グッズとして販売できたら、ヒット商品になりそうですが...残念...

これとは別に、利用者のみなさんで採取した「かきの葉」「杜仲の葉」「びわの葉」など10種類以上の野草をつかった「野草茶」も販売されています。こちらは冬はホットで夏はアイスで、とても美味しく飲むことができます。

YouTubeでは、マヌケル君も飲んでいきますよ。
みなさんも、ぜひ一杯どうでしょう?

今回、訪問させていただいた「かぜくさ」のみなさん、とても楽しそうに働いておられました。

「ここを利用してみたい」「ちょっと見学してみたい」と思われた方は、遠慮なく障害者支援センターにお問い合わせください。



野草茶「美味しいよ~」



紙太鼓「欲しいな~」



施設長の末迫さんに案内していただきました



当日の様子は、YouTubeで詳しく紹介しています。
けん玉名人のスゴ技もありますヨ! ぜひご覧ください。(チャンネル登録もよろしく!!)
スマホのカメラで2次元バーコードを読み取ってください。(動画にアクセスします)
パソコンの方はYouTubeで「三次市障害者支援センター」を検索してください。

*マヌケルチャンネルは三次市障害者支援センターのYouTubeチャンネルです。

マスクな夏

大雨を降らせた梅雨もやっと明け、猛暑の季節がやってきました。

思いっきり夏を楽しみたいところですが、今年は3密を避けながら時にはマスクを外し、時にはマスクを着けて、この夏を乗りきらなければいけません。

最近、いろんなメーカーからいろんなマスクが販売され、手作りマスクも多く見かけます。みなさんはどんなマスクを利用されていますか？ 最近の私はバイクウェアのメーカーが作った、内側がメッシュになったマスクを愛用しています。冷感マスクなどいろいろありますが、この暑さの中マスクを着けるということは、大きなストレスになることは間違いありません。熱中症とストレスに十分注意しながらお過ごしください。

さて、この「マスクな夏」をどう楽しむか、みなさんは何かもう計画をされていますか？ 屋外はあきらめて、涼しい室内で過ごされますか？ サザンオールスターズの「夏をあきらめて」という曲を研ナオコがカバーしてヒットした 1982 年、この年は雨が続き、夏が満喫できず、とても悲しい気持ちになった思い出があります。

地球ができて約46億年、そのレベルで考えれば、このコロナでマスクな夏は、ほんの一瞬のことでしょうが、その中で生きている私たちにとっては、とても貴重な時間です。いろんな工夫をしながら、アウトドア、インドアやステイホームで夏を楽しみましょう。私は、孫たちとお家でキャンプもいいかなと思います。最近イノシシが出没するのでちょっと怖い…



センター長 安永 統

そこで一句 **マスクとり 今日の終わりに 蝸ひぐらしや みちこ**

手話であいさつ

人は出会った時、まずはあいさつからはじまります。

初めて会う人には「初めまして」。いつも会う人には「おはよう」「こんにちは」「こんばんは」「お疲れ様です」などなど。

手話で話をする時も同じです。では、実際に「あいさつ」の手話はどうするのでしょうか。

あいさつ



おはよう は「枕をとって」と「あいさつ」の手話を一緒にします。

こんにちは は2つあり、「正午」と「あいさつ」の手話を一緒にすると、「明るい」と「あいさつ」の手話を一緒にするのがあります。

こんばんは は「暗い」と「あいさつ」の手話を一緒にします。

みなさん、どんな動作かわかりますか？ インターネットで検索すると、動画などもたくさんアップされていますから、確認してみてくださいね。

そして、場面に遭遇したら、自信をもって手話であいさつしてみましょう。

障害者支援協議会ってなに？

地域生活支援部会

地域生活支援部会は、主に三次市内のヘルパー事業所やグループホームの支援者が参加し、「障害のある人の社会参加」について検討しています。

「社会に参加する」という言葉を聞いて、皆さんはどんな生活をイメージしますか？

この部会では、過去数年にわたり、地域の当事者団体さんや家族会の方々と懇談会を開き、色々な思いを聞かせていただきました。

たくさんの「こうありたい」「こうあってほしい」という思いを伺う中で、今私たちが取り組むことは何だろうと考えた時、「自分らしく自由に生きるために、一人ひとりが関心あることとつながりを持った暮らしが送れたら良いのでは」「自由な世界とつながるために、中山間地域での交通手段の確保は大きな課題だね」「つながりたいと思う前に、障壁になっているものは何だろう」「地域の声を地道に聞くことが必要だね」という話になりました。

この部会は、研修会やイベントを開くことは少ないですが、今後は行政とは違った角度から生活実態の調査を行い、当事者や事業者が抱えている問題を整理していく予定です。

毎年夏休みは、小学生以下の障害児を対象にプール支援を行い、ヘルパーの皆さんは汗を流しながら子どもたちの安全な遊泳をサポートしています。今年は新型コロナウイルス感染症が流行しサービス提供を断念しましたが、いつどんな時も「自分らしく社会で生きていく」ことを考え続けていきたいと思っています。



就労支援部会

就労支援部会は、三次市内の就労支援事業所、地域活動支援センター、備北障害者就業・生活支援センターの担当者が集まり、就労状況や課題の共有をしています。

今後の各事業所運営に活かすことを目的に、お互いの事業所見学会を開催し、それぞれの取組を学ぶことも行っています。

市内の一般企業のみなさんに、「障害者就労支援事業所のことを、もっと知ってもらおう」「新たな受注につなげよう」などを目的に、商工フェスティバルへ参加するなど、幅広く活動しています。

また、毎週水曜日のお昼に市役所の本館 2 階で開店している「水 to ショップ(スウィートショップ)」では、あらくさのパンとお弁当、コージーガーデンのパンの販売をしています。

市役所に行かれたときは、ぜひ寄ってみてください。

今後も障害のある方が安心して働ける環境づくりとあわせて、地域や企業へ向けて、障害のある方の就労(就労支援事業)の周知や理解への取り組みをしていきたいと思っています。

